

# 課題図書のご案内



## ヒロシマ消えたかぞく



ひろしまへいわきねんしりょうかん てんじ  
広島平和記念資料館に展示されていたアルバム。そこにはとこや すずきろくろう きつえい かぞく  
の写眞がていねいにレイアウトされていた。写眞には子どもたちのはじける笑顔や可愛がって  
いた動物たちなど、ひびの暮らしや町の風景が写し出され、あいじょう  
愛情にあふれていた。ところが、この家族は原爆で一家全滅したという。原爆投下の前に六郎さんが兄に託したアルバム。「思い」  
を伝える。

## 月と珊瑚



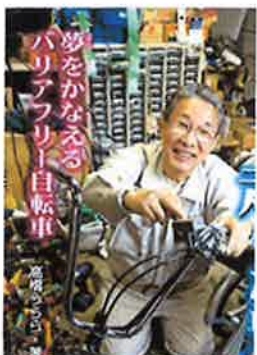
しゅじんこう なまえ さんご おきなわ ひさん せんそう けいけん  
主人公の名前は珊瑚。沖縄は悲惨な戦争を経験している。祖母から名前の由来を聞く。沖縄  
に暮らす子どもたちが、沖縄の悲しい歴史を知り、米軍基地と共に生活している現状に気  
づいて成長する様子が、珊瑚の日記の形で語られる。転校生の月へのあこがれ、自分の  
かだい みらい きぼう すなお ことば か  
課題や未来への希望も素直な言葉で書かれている

## 飛ぶための百歩



おきな とき しつめい しょうねん  
幼い時に失明した少年、ルーチョは、おぼ やまある  
叔母のベアと山歩きをするのが大好き。ある夏、  
やまごや で あ しょうじょ  
山小屋で出会った少女、キアラとワシのヒナ見に行くことになる。しかしそのヒナを、  
ふたりぐみ みつりょうしゃ  
2人組の密漁者がねらっていて……。自立を願う2人の成長と、ごかん たいせつ  
五感を大切にする  
ことのでえられる喜びを描く。

## 風を切って走りたい！



「自転車に乗って自由に楽に出かけたい」という思いを体の不自由な人こそもっている。  
だれでも乗れるバリアフリーな自転車。そんな夢をかなえてくれる人、それが堀田健一さん  
である。夢の実現は簡単ではない。体がどんな状態でも乗れる自転車は完全なオーダー  
メイドで、一人一人ハンディーが違い自転車の型も違う。苦勞の連続。道路使用のために  
届出申請もしなくてはならない。堀田さんは、体の不自由な人の笑顔と喜びのため決して  
あきらめなかった。仕事とはどんなことかも、伝えてくれる。